

調べてみた 財政悪化は市の責任

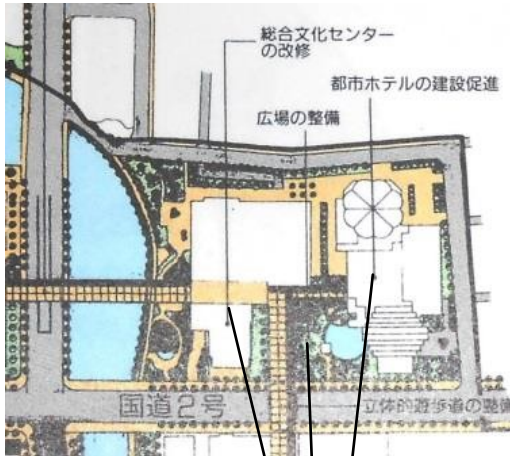


日本共産党市議会議員
松村ヤス子
 おはようニュース

2014年3月

アメリカの要請に応えた 政府の公共事業優先 が背景に

左の図は1992年に策定された「にぎわい・創生・あまがさき」と題する尼崎市の前の総合基本計画の最後の章の「将来像を支える都市機能」の第1章に示されている「にぎわいあふれる都心の形成」の「基本方



1985年、政府は、アメリカとの間で、プ
 ラザ合意
 を結び、
 その後、
 1990
 年2月の
 日米構造
 協会で、
 日本が1
 3年間
 で、63

国が1987年に計画した「第四次全国総合開発計画」Ⅱ「四全総」に基づいた総合計画です。
 1985年、政府は、アメリカとの間で、プ
 ラザ合意
 を結び、
 その後、
 1990
 年2月の
 日米構造
 協会で、
 日本が1
 3年間
 で、63

島市長が総合計画の改定を審議会に諮問しました。諮問の趣旨の中に、21世紀は国際化と情報化が進み地域レベルでも、国際化のための基盤づくりが必要となり、都市基盤もそれに対応しなければならぬ旨が書かれています。

向に示されている図です。
 1990年
 (平成2年)の
 12月に、六

0兆の公共事を行うことを約束し、全国各地で再開発事業などが行われました。尼崎市も、国際会議ができる機能を備えた都市ホテルの建設や駅前再開発として、それらに先立って、ホテル西側の間の広場の用地購入をしたのです。広場の用地購入は、六島市長の前の野草市長時代に行われました。

アルカイク広場 1㎡ 744万円ない 2028年まで 毎年15億円もの 借金支払い

約3900㎡で、土地開発公社が167億1300万円で購入したアルカイク広場の買戻し額221億3000万円に含まれる利子分54億1700万円、それに、買戻すための市債の利子負担を合わせると、12億2400万円になり、原価、1430万円の土地を744

西側の
 広場の土
 地取得に
 要したお
 金の借金
 返済が2
 028年
 (平成4
 0年)ま
 で、毎年

す。
 こんな方向に進めた市長と議会の責任が問われます。

高すぎる国保料 はういたくても 払えない

国民健康保険加入は約8万世帯です。そのうち、1万8694世帯が滞納世帯です。市は、差押えるために、滞納額が100万円前後の2107世帯の預貯金を調べました。その結果、支払い能力ありと判断された世帯は95世帯でした。

滞納者が多いということは、結局、国民健康保険料が、所得に対してあまりにも高すぎるということを示しています。払いたくても払えないのです。

尼崎市では、引き下げのために、国保会計に特別に繰り入れられているお金が年間6億円です。アルカイク広場の土地の借金払いの15億円、国民健康保険料引き下げにつかえたら、どれほど市民は助かることでしょうか。